

十月二十日
全曜日晴
伊江島

四旅団命令第百號ニ依リ伊江島ニ派遣スル兵力ヲ率ヘ四懸勢ニ據
師ト獨立混成第四旅團守備計画ニ依リ任務ニ就クシ
船舶輸送ニ関シハ曉部隊ト協定スシ
渡久地港揚陸後輸送ノ爲メ自動貨車ニ輪(標機子共)ヲシテ
協力セシム

三本部地區隊長及四伊江島地區隊長ハ獨立混成第十五隊
隊主力ノ復歸ニ伴ヒ四任務ニ復スヘシ

四本部地區隊長及伊江島地區隊長ハ所要ノ重火器ヲ揚
陸(搭載)地附近ニ配置シ揚陸(搭載)地ニ據ルニ任スヘシ

旅團長 鈴木少將

下達法電義 後印刷交付

獨立第一工作隊第六號

伊江島地區隊長 伊一九一五

一機隊ハ旅團命令ニ依リ揚陸地ニ據ルニ任スヘシ

二四伊江島地區隊長ハ前任務ヲ續行スシ

以下 海略ス

一各隊ハ陸地播種作業ヲ終日實施ス

二村民勤勞奉仕隊三九四名出場ス

三〇九三廣瀬ノ村濱崎木杖伐採隊ヨリ歸隊ス

四二四〇伊江村役場前ニ先般空襲ノ際功マシシ第三機関銃中隊

小林上等兵ニ對シ聯隊長賞詞ヲ與ヘシ 後今後陸地播種並ニ

戰事開展スル覚悟ニ就テ訓示ヲシ續大隊長左記ノ

件訓示ス

左記

一小林上等兵カ賞詞ヲ受ケルハ大隊長名譽ヲ戰事時ニ全員
勇敢ナルハ

二 空襲時ニ左往右往スルヲ嚴禁スル

三 陣地構築ヲ徹底シ實施スヘシ

四 軍紀風紀ヲ嚴正ニシテ軍紀ハ戰勝ノ基礎ナリ

五 聯隊本部第一大隊及獨立中隊、主力ハ獨混一五作令第六二號

ニ基キ本部ニ歸還ス

六 一五三〇リ約一〇間地區隊長ハ陣地ヲ視察シ指導ヲナス

一 地區隊長ハ終日陣地構築ヲ實施ス

二 村民勤勞奉仕隊三六〇名出場ス

三 〇八三〇聯隊長波久地ニ歸還ス

四 一三〇〇リ約一〇間地區隊長陣地視察ヲシ所要指導ヲナス(第一中隊・陣地)

五 ニニ三〇南西諸島全地區 警備式警備令

六 在支軍 支隊等ノ警備令ハ一六四八ノ如シ

旅團情報

一六四八 受

情報ニ依リ在支米空軍ハ比島方面機動部隊ヲ呼應シ

テ二十日台灣及本土爆撃ヲ企圖シ各基地ニ於テ準備シ

アルモノ、如シ

七 本口下連発命令左ノ如シ

西作令第四二號

伊江島地區隊命令

一六四八 受

一 在支米空軍ハ比島方面機動部隊ヲ呼應シ二十日台灣及

本土爆撃ヲ企圖シ各基地ニ於テ準備シアルモノ、如シ

二 地區隊長對空警戒ヲ嚴正ニシメントス

三 對空射撃ニ直ニ應ジ得ル如ク又各隊ハ直ニ待避シ得ル如ク

準備シアルモノ

四 井上少尉ハ明二十日以降ニ兵小隊約半数ヲ以テ當分所掌

九中隊尤小隊、陣地構築ニ協力スヘシ

協力スヘキ事項ニ関シハ地區隊長、指示ヲ受クヘシ

五各隊ハ、陣築掩蔽處置ニ関シ地區隊長ニ明ニ二十日・九日迄ニ

報告スヘシ

六明ニ言伊江城山前面、防禦戦闘ニ関シ地區隊長幹部

現地教育ヲ實施ス

依テ左記、者〇九日迄伊江城山南麓ニ入路ニ集合スヘシ

左記

ノ第七中隊長 第九中隊長

獨立機關銃中隊長 獨立速射砲中隊長

ノ第七第九獨立獨機各中隊長、關係分隊長以上全員

伊江島地區隊長 西村大尉

下達法令受領者、渠ノ口達筆記セシム

十月十二日

日曜日晴

伊江島

一地區隊長、終日陣地構築作業ヲ實施ス

二村民勇勢奉仕隊三五名出場ス

三〇九日ヨリ約二時間ニ亘リ地區隊長伊江城山南麓ニ於テ第七第九

獨立獨機各隊分隊長以上ニ對シ伊江城山前面防禦戦闘ニ関

シ幹部現地教育ヲ實施ス

四一四ヨリ約二時間至、地區隊長陣地視察ヲナシ所至指導ヲナス

五月例体重測定ヲ實施ス

六一六日、左ノ情報ヲ受ク

一在文米空軍出撃ヲ正確ナクモ昨二十日以來南西諸島

地區ニ支那機、機動部隊多ク、艦艇ヲ發シテ襲撃スル

ニ、中部アイリソン、イナ方向ヲ攻撃中、敵ハ米第三艦隊第一艦

隊等七艦隊、隊隊ニテ既報ノ如ク其ハ兵力ハ空母六

戦艦、九巡洋艦及驅逐艦ニテ輸送船一

シ、イナヲ島東方海面ニ大ニ輸送船團アリ、他ニ呂宋島東方海面

第五艦隊本部確認モ、空母四空母ヲ基幹、ニ母アリ
三右ニ基キ、海沖艦航空戦並ニルソ、島沖ニ於ケル損害

撃沈 空母一 戦艦一 撃破司類

及ビテリリヨウ、カルマテラ方面、敵基地整備不極ニシテハ

同高、攻略意、如クナラハル為、等、敵作戦一見敵大平洋

戦カ、覆滅スル為、正ニ我、来スル好期ナリ

四一九ロロレニア附近、空母六艦(大型ヲ含メテ知リス)戦艦四

巡洋艦ニ、駆逐艦三以上及ビ、ニ日バラオ同邊ニ果結中

駆逐艦四、今後、行動ニ関シハ警戒ヲ要ス

七本日下達セル命令左、如シ

西下命令第四三號

伊江島地区隊命令

一燈台附近ニ於ケルカソリニ戦法、研究演習ヲ十一月初旬ニ定

施ス豫定ニシテ左記、如クシテ準備並ニ研究本部ヲ命ス

本員長 諸江大尉

本員 岡井中尉

同 山寺中尉

同 荻生中尉

同 田中中尉

同 井上少尉

二前項本員ハ研究、議題同研究議題(案)本月三十日迄

二編製地区隊長ニ提出スシ

三荻生中尉ハ議題ニ基キ本月二十九日、三十一日ニ亙ル五日間

二部下小隊ヲ以テ之ヲ實施、準備ヲナスシ

尚前項本員ハ部下兵員ヲ以テ材料調製準備ニ関シテ
積極的ニ援助スシ

伊江島地区隊長

西村大尉

十月三日
月曜 晴
伊江島

下達法合隊命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

一 地区隊ハ終日陣地構築作業ヲ實施ス

二 八三〇ヨリ約一〇時三〇分地区隊長ハ伊江村男女青年學校長ト男女青年ノ指導ヲ圖シ打合ヲ行フ

三 〇九五放團長伊江島現状視察ノ為メ來島

四 一三三〇ヨリ約二〇時三〇分地区隊長ハ視察一六〇〇歸還セル

五 一七四〇ヨリ約一〇分間隊長室ニ於テ諸江大尉 関井中尉 山寺中尉 萩生中尉 田中中尉 井上中尉 カソリニ戦法ニ関シ協

議ヲナス

六 本日下達セル命令左ノ如シ

西日命令第六七號

伊江島地区隊命令

一 陣地擴張

九 二一四五左ノ情報ヲ受ク

一 山部隊北見台監視時、報告ニ依リハ本三言一六三三不明機一高度

七ノ沖繩北飛行場 思約機伊江島上空ニ偵察ニマリ

嚴シ警戒ヲ要ス

一 地区隊長ハ終日陣地構築ヲ實施ス

二 八三〇ヨリ約一〇時三〇分地区隊長ハ郵便局長通信事務ニ関シ打合ヲ行フ

三 午後地区隊長々山附近ノ陣地ヲ視察ス

四 二一四五左ノ情報ヲ受ク

一 南方軍艦報

(1) 一ノ海軍航空隊機ニ對シテ郵便局長機ニハ三〇〇ノ猛烈攻撃セリ
同海軍機ハソノ島東方ニ空母群ニ對スル攻撃又成功セリ

十月三日
火曜 晴
伊江島

十月十五日
水曜日
伊江島

心戦果 後報ス

一、五三〇地区隊長約一〇間、四〇陣地視察ス

二、〇六三地区隊長約三〇間、三〇陣地視察ス

三、〇四〇左、情報ヲ受ク

陸隊附近ヲ北東東進セテ敵機ハ〇九三三洲島ニ來襲セリ

〇九三五 西軍空襲警報發令

伊江島ニ來襲、算一〇三行警式ヲ嚴メシシ各隊ハ軍需品ヲ分散疎開ス

四、地区隊長西軍命令第四號ヲ下達シ敵警式ヲ嚴ナラシム

五、午前中地区隊長陣地視察ヲナス

六、一三四五 左、警報ヲ受ク

西軍軍管區二帯空襲警報解除二二四〇 警式警報解除一三〇〇

七、一四五〇 左、警報ヲ受ク

南西諸島全地区警式警報解除一四三〇 球第一六一六部隊長

八、本日下達セル命令左、如シ

西軍命令第四四號

伊江島地区隊長命令

一、西軍地区ハ本日〇九三三空襲警報發令セラル

支那方面ヨリ、敵機伊江島ヲ空襲スルハ公算アリ

二、地区隊長ハ對空警式ヲ嚴メシ陣地構築作業ヲ緩行セントス

三、各隊ハ宿舍内ニテ兵器資材被服其他物資、分散疎開ヲ實施シ所要、警式兵ヲ附スヘシ

四、本部及各隊ハ對空監視ヲ嚴シ作業中敵機ハ空襲アルモ迅速疎開シ得ル如ク豫行ヲ實施スヘシ

尚豫メ指示シタル對空射撃部隊ヲ直ニ配置シ統制スヘシ

五、余ハ伊江島山南麓ニ在リ

伊江島地区隊長 西村大尉

下達済各隊命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

西軍命令第六八號

伊江島地區隊命令

一 至十月三十一日 陸軍衛生伍長 須藤安之丞

事務連絡、渡久地球第七八三六部隊本部ニ出張ヲ命ス

依テ本ノ食料部隊本部、給養ヲ受ケシ

二 至十月三十一日 陸軍中尉 関井喜雄

同 尾崎良備

同 陸軍少曹 山梨敏彦

同 陸軍技術伍長 清水祐一郎

同 陸軍主計伍長 小林定五郎

事務連絡、名護町球第一八〇〇部隊ニ出張ヲ命ス

三 獨立城壕銃中隊 陸軍上等兵 太田信一

同 都竹幸作

同 竹中重夫

同 富成重治

同 桐山善差忠

同 三輪良助

右者本村代探、新武島氷遣隊ニ派遣ヲ命ス

依テ太田上等兵、引率ヲ以テ十月二十六日出発同島ニ至リ、廣瀬

少尉、指揮ニルシ

服装、完全軍装、食糧携行ノ食料、同隊、給養ニ

ルシ

一 地區隊ハ終日、陸地構築作業ヲ實施ス

二 村民勤勞奉仕隊ニ三〇名出場ス

三 〇六〇〇、約三〇間本部、陸地、視察ヲナス

四 〇九三〇〇、約一〇間地區隊長隊隊砲小队、陸地、視察ス

十月二十六日
水曜日晴
伊江

五〇九三〇リ。間ニ早「ガソリン」戦法研究本員ハ隊長室ニ於テ「ガソリン」戦法ニ関スル打合ヲ行フ
六〇三〇 関井中尉、尾崎中尉、事務連絡、タイ石護ニ回シ出發ス
七、本日下達セル命令左ノ如シ

西作令第四五號

伊江島地區隊命令

一六〇一
一六〇二

一、獨立機關銃隊長ハ機關銃一分隊ヲ第七中隊長ニ配屬ス
シ其ノ指揮下ニ入ラシムヘシ

第七中隊長ハ該機關銃分隊ヲ山田小隊ニ配屬スヘシ

伊江島地區隊長 西村 大尉

下達法 命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

十月二七
全理日精

一、地區隊ハ陣地構築作業ヲ終日實施ス

二、村民勸誘等奉仕隊ハ陣地視察ス

三、午前中地區隊長ハ陣地視察ス

四、頭一七三〇 廣瀬少尉以下五五陣地構築用木材、揚陸生運搬ヲナス

五、球第一六六部隊ヲ沖繩、空襲先敵機、識別、参考一部送附ス

トクルニ依リ直ニ印刷各隊ニ交附シニカ教育實施セシム

敵機識別、参考別紙附表第四、如シ

六一四三〇 左ノ情報ヲ受フ

支那方面、我航空部隊ハ昨午夜間成都飛行場、敵空軍ヲ空襲シ次ノ戦果ヲ收メ全機無事帰還ス

ノリ 撃墜 一五機 撃破 四二機

小型機 同 二機

七、本日受領セル命令左ノ如シ

獨立機四隊命令第六六號

獨立混成隊第四十四放團命令

一六〇一
一六〇二

一、放團八隊命令第一五三號ニ基キ現下人の戦力消耗ノ主因ナル

急性傳染病、徹底的防遏、企圖ス

一、各部隊現況ニ即應シ傳染源、及除又傳染経路、遮断ニ遺憾ナク施策ヲ實施スルヲ要シ特ニ野戰戰備以上状況下ニ於テ防疫的給水ノ根本対策ヲ樹立ス

第三野戰防疫給水部ハ當兵團ノ防疫給水ニ協力スルヲ要ス

三、各部隊ハ準備陣地内作井布望位置ヲ計畫シ司令部ニ報告ス

作井實施ニ関シハ野戰作井隊中隊ヲ協力セシム

四、實施要領ヲ細部ニ関シテハ部員ヲ指示セシム

旅團長 鈴木少將

下達法、印刷交付

十月五日
土曜、晴

一、地區隊ハ陣地構築用資材、揚陸並運搬作業ヲ終日實施ス

二、第一地區隊長同地向飛行場大隊長同島守備ニ関シ打合

三、野井中尉尾崎中尉事務連絡、久名中尉出陣中ノ

廣一四〇歸隊ス

四、本日下午達セル命令左ノ如シ

西日命令第七號

一、第一地區隊命令 陸軍大尉 諸江春美

二、本職出張不在間地區隊代理ヲ命ス

三、本職ニ隨行ヲ命ス 陸軍中尉 竹田政雄

四、至前日三泊 陸軍中尉 竹田政雄

五、右者第九師團ニ實施シ演習見學ヲ那霸中附近ニ

出張ヲ命ス 陸軍中尉 竹田政雄

六、右者第九師團ニ實施シ演習見學ヲ那霸中附近ニ

出張ヲ命ス

十月二十九日
日曜日晴
伊江島

一 地區隊ハ陣地構築作業ヲ終日實施ス
 二 地區隊長以下四名第九師團ニ於テ實施、(1)號演習見學
 夕ノ那霸中二回ハ一〇三〇出發ス
 三 地區隊長ハ不在間左記、二兵ヲ特ニ嚴テラシル様日直
 將校ヲ注意ニナシハ

左記
 一 對空警戒
 二 火災豫防

十月三十日
月曜日晴
伊江島

一 地區隊ハ陣地構築作業ヲ終日實施ス
 二 村民勤勞奉仕隊一〇〇名出場ス
 三 午後九時、瀬少尉以下五〇名陣地構築用木材、揚陸並ニ
 四 本日左ノ特殊任務ヲ受領ス
 九七式小型機番 一五〇
 五 本日下達命令左ノ如シ
 當日命第七一號

伊江島地區隊命令

一
 陸軍伍長 阿部 忠雄
 陸軍中尉 齋藤 真雄
 同 阿部 正利
 右、着經理室勤務ヲ命ス (以下省略)
 六 陸軍一等兵松本功以下二名入院中、處本日退院ス
 七 現在人員左ノ如シ

區分	將校	准士官	下士官	兵	計
人員	三四	四	七〇七	七二二	八六六

十月二十日
火曜日所
伊江島

一 地區隊ハ陣地構築作業ヲ終日實施ス
二 村民勤勞奉仕隊九三名出場ス
三 本日左ノ兵器ヲ受領ス

軍馬 三頭

四 本日下達セル命令左記ノ如シ

西休命第四六號

伊江島地區隊命令

伊江島

一 對土間前眞謝燈台附近ニ於テ夜生中尉指揮ノ下ニ
「カソリ」戰法研究演習ヲ實施ス

依テ各隊ハ左記人員ヲ明十日一日〇七三〇後場前ニ集
命セシム

左記

第七中隊 下士官 一

第八中隊

兵 一

隊附 兵 一

兵 一

獨立連射砲中隊 兵 一

兵 一

第七中隊 下士官 一

兵 一

工兵小隊

兵 一

引率ノルニテ燈台ニ至リ夜生中尉ノ指揮ノ下ニ入ル
服裝ハ軍裝ニテ背囊ヲ除ク

伊江島地區隊代理

請江 大尉

下達法各隊命令受領者ヲ集メ口達筆見セシム

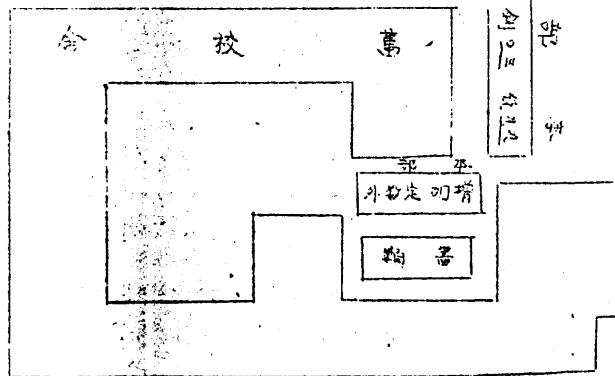
五 現在人員左ノ如シ

區分	校	准士官	下士官	兵	計
人員	二四	四	一〇七	七三二	八六六

圖 要 列 配

隊 小 AIR	隊 中 FM 三第	隊 中 九 第	隊 中 八 第	隊 中 七 第
車 票 彈 砲 小 一 四	鏡 開 機 室 三 九	鏡 九 九	鏡 九 九	鏡 九 九
(西 屬) 品 着 裝 部 外	鏡 眼 劍 三	品 屬 只 只 只 只 只 只	品 屬 只 只 品 屬 只 只	品 屬 只 只 品 屬 只 只
品 屬 同 鏡 九 九 劍 三	品 屬	鏡 劍 三 刀 軍 九 九	鏡 劍 三 刀 軍 九 九	鏡 劍 三 刀 軍 九 九
	品 屬 鏡 小 品 屬 劍 三	品 屬 鏡 小 品 屬 劍 三	品 屬 鏡 小 品 屬 劍 三	品 屬 鏡 小 品 屬 劍 三
	杖 局	杖 局	杖 局	杖 局

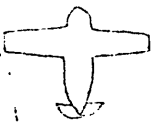
會 校 新



沖繩來襲敵機識別、参考

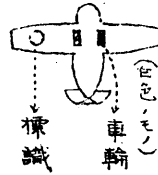
沖繩ヲ空襲セル敵機ハ昭和十年九月參謀本部發行「日米英飛行機便覽」
 P52 P4F-3「ワイルドキャット」(グラマン)及同 P77 P78「グレイバー」(カーチス)ニシテ見合ケ上ノ特徴坦ニ
 標識左ノ如ク對空監視上ノ參考ニ資セラレ度シ

一 グラマン 戦闘機

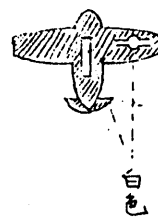
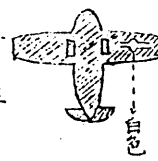


中翼ニシテ友軍戰鬥機ニ比シ胸太ク丸味アリ
 光線ノ關係ニヨリ友軍戰鬥機ノ胸下ニ補助タンクヲ附シタル格構ヲ
 呈ス

機体ノ色調ハ黒色ニ付モノ(深緑ヲシ)及白色ノモノニシテ標識ハ數種アリ



(白色ノモノ)
 車輪
 標識
 片翼ノミニ附シアリ
 左右ノ別ハ戰隊ヲ表ハスモノ



ニ カーチス 爆撃機

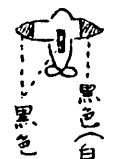
中翼ニシテ胸体下面ノ膨ミ明瞭ナリ 尾部ハ兩端上方ニ及リ且胸体尾部急激

ニ 細フナリアリ



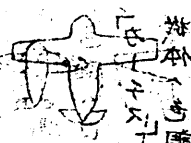
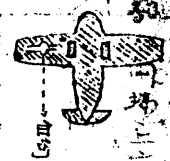
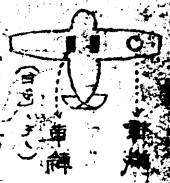
上ノニ及リ且急ニ細クナル

色調ハ白色ノモノ多ク 標識ハ種類多シ



「カーチス」ノ急降下爆撃ハ悔リ難シ

大分県 津久野町 津久野飛行場
 大分県 津久野町 津久野飛行場
 大分県 津久野町 津久野飛行場



大分県 津久野町 津久野飛行場
 大分県 津久野町 津久野飛行場
 大分県 津久野町 津久野飛行場

大分県 津久野町 津久野飛行場
 大分県 津久野町 津久野飛行場
 大分県 津久野町 津久野飛行場

伊江島 空襲 受ケタル 状況ニ 鑑ミ 左記ノ 件ニ 関シ 特ニ 嚴守
 スル 緣地 區隊長 トシテ 島民ニ 告 達セリ

- 一 木 杖 石 杖 其 他 各 種 物 資ヲ 積 極 的ニ 集 出シ 之ヲ 戦 力 化ニ 関シ 協 力スヘシ
- 二 常 時 食 糧 品 各 人ニ 週 間 分(干 芋 一 週 間 分 及 芋 一 週 間 分) 及 水ヲ 準 備ス
- 三 空 襲ノ 場 合 武 器 艦 砲 射 撃ノ 件ヲ 場 合ニ 於テモ 各 家 庭 附 近ニ 待 避スヘシ

此ノ 際 前 記 食 糧 品ヲ 携 帶スヘシ
 四 敵ヲ 艦 砲 射 撃ヲ 受ケル 状 况ニ 至ラバ 速ニ 防 衛 隊 及 青 年 八 坂 場 西 側 道 路ニ 集 合シ 関 井 中 村(尾 崎 中 村)ノ 指 示ヲ 受ケテシ

女 子 青 年 八 坂 場 東 側 畑 地ニ 集 合シ 井 手 口 軍 醫 署 又ハ 炊 事 下 官 官 指 導ヲ 受ケテシ

- 五 砲射撃ヲ受クル状況ニ於テ第四項ニ示スモノ、外一般ニ陣地附近ニ近接スルコトヲ禁ス
- 六 空襲時村内ヨリ右往左往スルコトヲ嚴禁ス
- 七 道路ノ阻絶ニ関シ軍ニ協力スヘシ
- 八 流言蜚語ニ迷フコトナク軍ニ對シ信賴スヘシ
- 九 流言ヲ發シタルモノハ嚴罰ス

九 防諜ニ注意

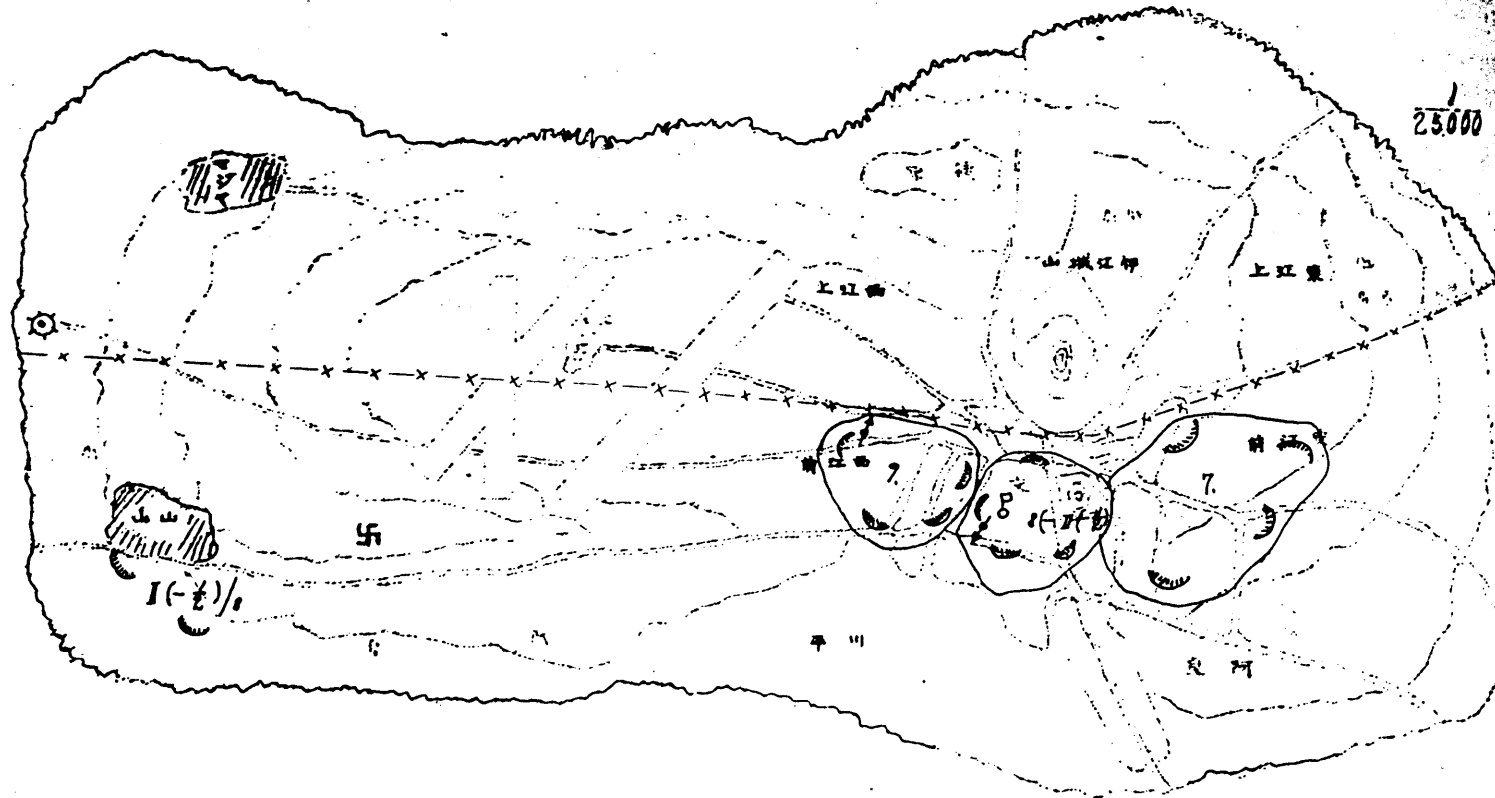
昭和十九年十月十三日

伊江島地区隊長

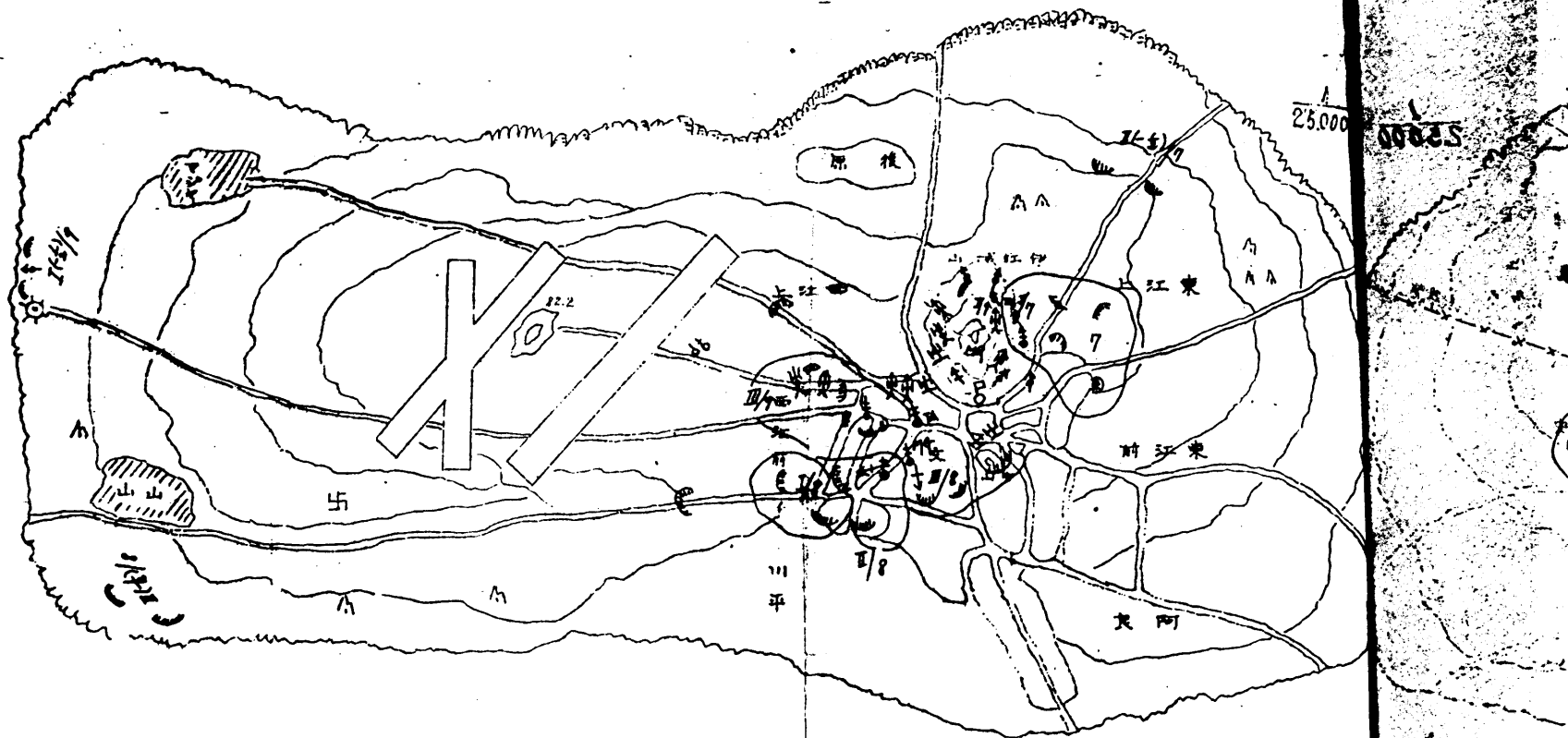
西村 信義

第三大隊配備要圖

昭和十九年十月十八日



伊江島地區隊配備要圖
昭和十九年十二月十七日



伊江島地區
西村部隊



昭和十九年十月十日

伊江島地區(西村部隊)戰鬪詳報

獨立混成第十五聯隊第三大隊(配屬部隊ヲ含ム)
(伊江島地區西村部隊)

野島島嶼(西林嶺) 野島嶼

野島嶼(西林嶺) 野島嶼

一 戦闘前ニ於ケル敵我形勢ノ概要

ノマリヤナ方面ヨリ敵機動部隊來襲ノ虞アリ地區隊ハ獨混第
四四旅團作命第三〇號ニ基キ十月八日一二〇〇丙號戦備ヲ實施シ
各隊ノ主力ヲ各々陣地附近ニ分散シ甲號戦備ニ轉移ヲ準備セン
ムルト共ニ依然陣地構築ヲ續行ス

二 戦闘開始前ニ於ケル態勢附圖第一ノ如シ

2. 十日〇七〇〇嘉手納名護方面ニ連續爆撃音ヲ聞キ敵機來襲
ヲ知ル

3. 地區隊ハ地區隊長ノ出張前日ノ命令並ニ指示ニ基キ嚴ニ對空
警戒ヲ實施シツ、マリシガ豫期セン如ク十月十日〇七〇三ヨリ敵
機ノ來襲アリ

二 戦闘ニ及シタル氣象地形及住民地ノ状態

敵操縦手ノ技術特ニ急降下ノ行動ハ優秀ナルモノト認ム
戦法
尾部ニ機関銃ヲ装備シ上昇時尾部ヨリノ射撃ニ注意ヲ要ス

三 戦闘經過ノ概要

地區隊ハ敵機ノ來襲ヲ豫期シアリ且ツ準備ヲ實施シツアリシヲ以テ
戦闘準備ハ極メテ迅速ニ實施シ得タリ則チロセロ三待避下令ロセロ五
對空射撃部隊ノ射撃準備完了ス
同時刻飛行場ヲ攻撃セル敵戰爆連合二十八機ハ數箇ノ編隊ヲ以テ部
落上空ニ侵入數回旋回ノ後學校及波止場ノ施設緊船ニ對シ執拗ナル
銃爆撃ヲ反復實施シロセ四五本島方面ニ逃走セリ
以後ロ九ニロヨリ一三機一三ロヨリ一ニ機一五ロヨリ一四機伊江島上空ニ
ヨ悠々旋回銃爆撃ヲ學校周邊地區ニ對シ實施セリ
第一次來襲ノ際敵機一機ヲ第三次來襲ノ際敵機二機(一機ハ敵機
隊員伊江島上空ヨリ全ク影ヲ没セキハ一五三ロナリ

六 伊江島地區隊命令

第一〇三〇八〇
戰術司令部

1. 本朝ロセロ五戰爆連合二十八機伊江島ニ來襲セリ
2. 部隊ハ甲號戰備ヲ實施ス
3. 部隊ハ戦闘配備ニ就キ隨時戦闘ヲ開始シ得ルカヲ準備ヲ整フニ
ト共ニ極力完全ニ秘匿スル處置ヲ構シテ後工事ノ進行ヲ計
ルハシ
4. 各隊ハ前項ニ基キ對空及地上搜索ノ處置ヲ構スハシ
5. 爾後對空射撃ニ對シテハ必登ヲ確認シ得ル場合ニ限リ射撃シ
極力彈藥ノ節約ニ務ムハシ
6. 各隊ハ第一次空襲ニ於テハ諸情報ヲ速ニ提出スハシ
7. 本畫食ハ携帶口糧乙ニ依ルハシ

2. 爾後ハ命令受領者ヲ戰闘司令所ニ常時差出スヘシ
3. 余ハ戰闘司令所ニ在リ

地區隊長代理 結 江 大 尉

六 連絡設備ノ状態

有線ハ爆撃ノタメノ断線又交換所火災等ノタメ不通トナリ無線ハ水
晶片ナキタメノ名護旅團司令部トノ通信不能トナリ飛行場大隊トハ
傳令ヲ以テス

八 敵ニ與ヘタル損害

飛行機三機ヲ撃墜ス(二機ハ確實一機ハ概ニ確實ナリ)

九 死傷者 附表第一ノ如シ
武器彈藥損耗表 附表第二ノ如シ

右者對空射撃ノ機關銃手トシテ至近距離ニ於テ敵機ヲ回復スル
敵機ニ對シテ彈丸ヲ以テ空撃ヲスル思想ノ下ニ最モ勇敢且沈着ニ射
撃ヲ實施シ敵機一ヲ確實ニ撃墜シ隊長長ヨリ賞詞ヲ受ケ

十一 参考事項

地區隊長西村(信)大尉ハ軍司令部ニ於テ實施スル幹部教育ニ參
加シ命デラレ十月八日當地出發那霸軍司令部ニ出張中ナリシガ已
ニ最近ニ於テ敵偵察機ガ二回ニ亘リ伊江島偵察セル疑アリシニ付留
守中ニ於ケル敵機ノ來襲ヲ顧慮シ出張ノ前日午後對空監視對空射撃
部隊並ニ射撃方法部隊及資材ノ疎開ヲ徹底的ニ實施スル様地區隊長
校全員ヲ集メテ強調シ且命令セリ而シテ部下又之ヲ確實ニ實行シタ
リ以テ當伊江島地區隊(西村部隊)ノ損害ハ極メテ輕微ナリ兵器資材燃
料ノ損害皆無ニシテ飛行機ノ撃墜ニ使用彈藥ニ比シテ大ナリキ地區隊

長々山頂前時ニ命令シ強調ニノ事項ノ概要左記ノ如シ

左記

1. 留守中消報蒐集ヲ迅速ニスル

2. 對空監視ハ大隊本部ニ於テ設ケレ外各隊ニ於テハ對空監視ノ實施セラル

3. 大隊ガ宿營セル學校ノ敵機ノ好目標ナルヲ以テ空襲ノ後々ノ顧慮アルニ至レハ各隊ハ迅速ニ豫メ準備シアル掩蔽部ニ疎開シ得レ如ク常時準備ヲ完了シ一決ニ至ル迄徹底シ置ケル(各隊毎ニ迅速ナル疎開ノ豫行ヲ實施ス)

4. 對空射撃等部隊ハ二般ノ隊ヨリ各一小隊各機關銃中隊ヨリ一小隊ヲ常時準備セラル

射撃位置ハ敵機ニ對シ掩蔽ヲ得ル位置ヨ豫メ選定シ置キ不意急襲射撃ヲ實施スルニ高射撃距離ヲ左記ノ如ク定ム(對空射撃ハ)

機關銃

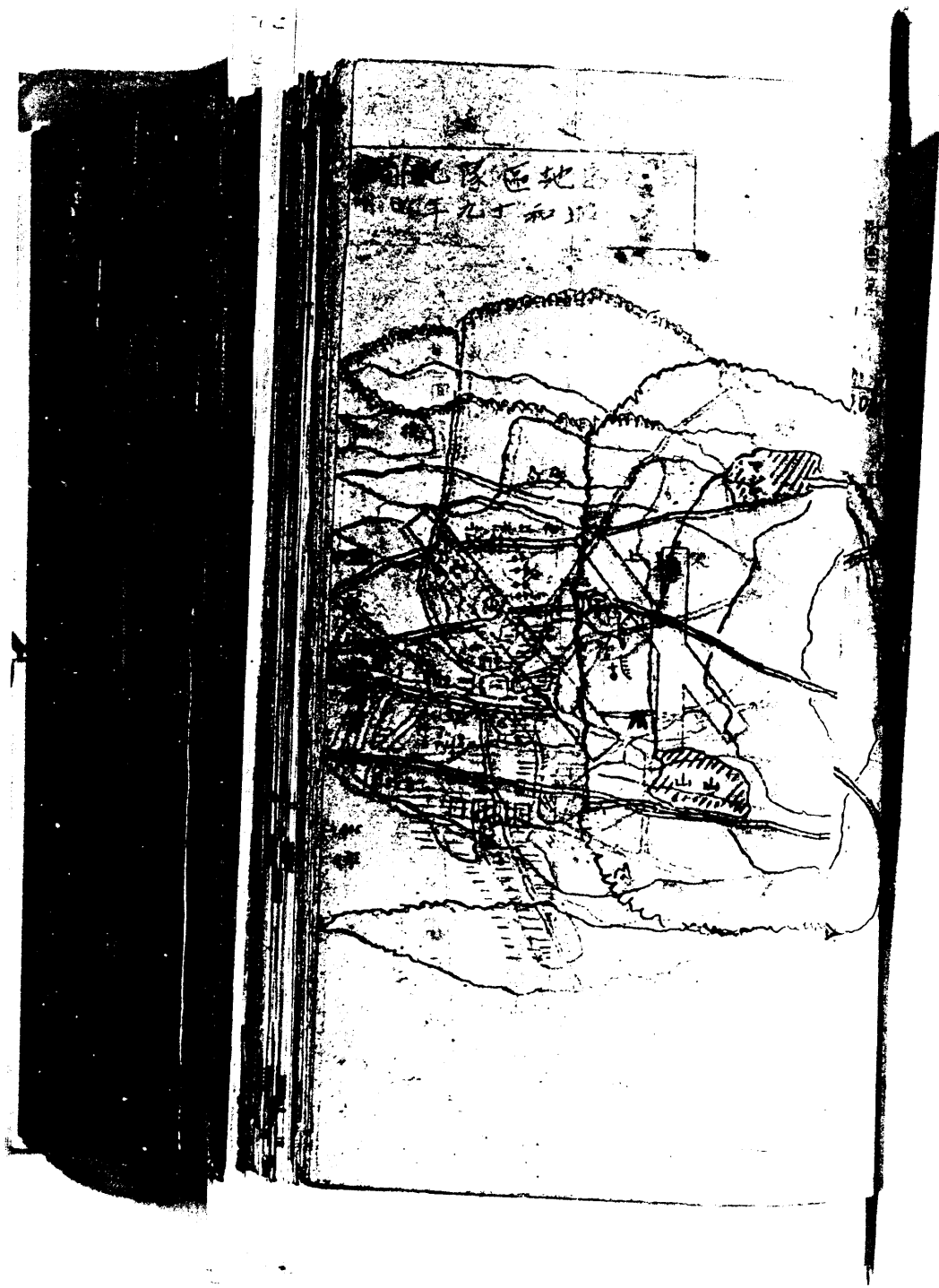
輕機

小銃

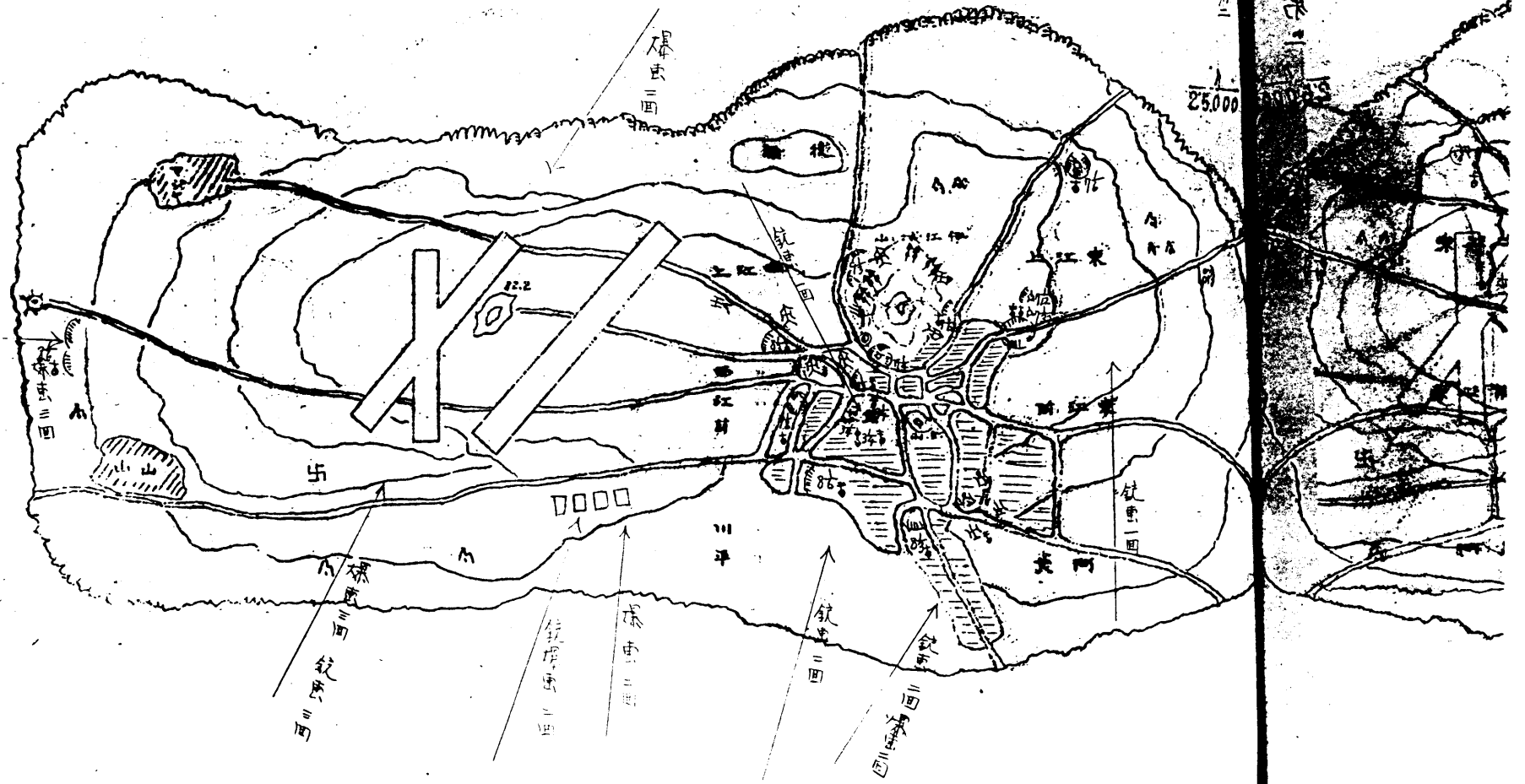
二百米以内ニ敵機近接シタル場合ノミ射撃ス

5. 大隊副官ハ大隊全般ノ彈藥・糧秣・其他ノ資材ヲ速ニ一層徹底的ニ分散掩蔽スル處置ヲ明ハシ資材ヲ速ニ分散・處置ハ已ニ實施シアルモ尚兵器資材ノ一部ガ學校ニ存在シアルヲ以テ直ニ陣地附近ニ移ス

6. 空襲時ハ全員哨臺又ハ豫メ準備シタル待避壕ニ待避スルニ對空射撃等部隊ト雖モ他メテ哨臺内又ハ掩蔽シタル地形ヲ選定シ不意急襲的射撃ヲ任スルモノトス



伊江島地區配備要圖
昭和十九年十月十日



附圖第一
1:25,000

